

「新しい生活様式とICT活用法」～行動制限の時代に生きる～

開催地：サミット グループ： 3班 2020.11.15

ICTをもっと深く理解する!

ICTの活用方法

- ・ I C T を利用した 遠隔授業の実施
 - ・ 感染拡大を危惧して、直接会わずに話し合う
- etc..

視点を学校生活に

- ① スマホが世の中に浸透した
- ② 教師が機能、アプリを知っている
- ③ 誹謗中傷、迷惑行為は絶対にしない



教師はどのようにICTを活用していけばいい？
政府はどのように教師をサポートするのか？

教師へのサポート方法

教師へのおおまかなガイドラインを作成

→コロナ禍での丸投げで生まれた学習面での混乱の再発防止



- ①学習面での地域格差を是正することができる
- ②先生側もICTへの理解を容易にできる
- ③先生側で他校の学習進捗の共有の容易化

政府のガイドライン（案・要望）

全教科：各授業の解説動画の配布

数学：計算力のスピード向上のため、計算問題のアップロード

理科：実験の手順や理解を促すための動画の放映

英語：リスニング教材、英単語や文法の小テストを配布

国語：漢字や古典単語の確認テストを配布、記述問題の解説動画など

ガイドラインに沿った授業を生徒へ

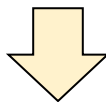
現状、先生方特有の授業に生徒が慣れながら行っている
だから、ICTを使った授業でも同じことができる？



- ・ ガイドラインに沿いながらも、先生のやりやすい授業を
- ・ **【先生→生徒】は、今まで通りに！**

課題提出について

同じアプリでもスマホとPCで同じように編集できるか、提出の仕方、操作方法の難しさが異なる



- ① スマホでもPCでも使い方、提出の方法が
変わらないアプリの開発・利用
- ② 政府から複数のアプリの例を示す
(1つの企業が独占しないように)